



12月の園だより

令和5年12月 富田林市立錦郡幼稚園

『2023 ビオトープ大作戦』大成功！！～予感から確信へ～

保護者参加型保育参観週間(11月13日から17日まで)を終えて、保護者のみなさんの感想から、代表してお二人のものを掲載させていただきます。

☆一生懸命石洗いをし、母の事も無視で頑張っていました。普段甘えたベツリなのに、自分の仕事をしっかりして成長を感じました！何かを洗うのが大好きなので、石洗いは楽しいみたいです。本人なりに『2023 ビオトープ大作戦』に参加して役に立っていると自覚しているようで、頑張っている姿がたのしく感じました！26日も一緒に頑張ります！楽しみにしています！

☆子どもたちと一緒に参加させていただきとても楽しかったです。このような参加型の参観は初めてでしたが、すごく良い経験をさせていただきました。子どもたちと泥すくいをしていた時、大人なら見逃してしまいそうな小さなタニシに対しても、あるお子さんが「小さいのを見つけたい！助けてあげないと」と言って一生懸命すくい出してあげている姿に、本当に生き物を大切にしたいという心や姿勢が育っているんだなと実感感動しました。川づくりをした上の子の学年から見させていただいていますが、代々引き継がれながらビオトープが守られていることは素晴らしいことだと思います。26日の『2023 ビオトープ大作戦』も家族総出で楽しみながら参加させていただきます。

こどもたちの『自己有用感』『自尊心』の低下(喪失)が叫ばれています。これにはさまざまな要因が複合的に絡んでいて、各種調査の結果を見ても状況は深刻です。今こそ、自分が役に立っていると実感できる取り組みを大人とこどもが一緒になって企画・実施していくことが大事だと考えています。さらに生き物や自然環境を大切にし、継続して関わっていく事は、自分自身も含むすべての人間を尊重していく事に繋がっていきます。世の中がますますデジタル化し、スピード競争を強いられる様相を呈していますが、幼少期は特に、今回の取り組みのようにアナログでこそ、人生の土台が培われていくと確信しています。【26日は100名近い『熱い人々』で楽しく過ごせ大成功！ご参加ありがとうございました。】

えんちよう しのお よしかず
園長 塩野 義和